

令和3年度産山地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は、熊本県の北東部で阿蘇外輪山と久住山の間位置し、標高480m～1,050mと高く、山間地域で棚田が多く圃場の条件が悪い状況ではあるが、水源が有り水量も豊富なため、水稲の作付を中心に施設園芸や広大な原野を利用した畜産経営が行なわれている。

全耕地面積のうち65%を占める水田では、主食用米の他ビニールハウスを利用したほうれん草、チンゲンサイ、トマト、アスパラガス、花き等の施設園芸の産地として取組が行なわれている。

しかし、農業後継者の減少や農業従事者の高齢化により、今後の農業担い手の不足が懸念される。また、近年イノシシ、シカ等による農産物被害が多く、対策を図る必要がある。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

1. 適地適作の推進

- ・産山村は阿蘇地域でも高冷地にあたり、夏場の冷涼な気候を生かした園芸作物（ほうれん草、チンゲンサイ、トマト、アスパラガス、花き・花木、スイートコーン、シイタケ等）が盛んであり、今後も適地適作を基本に水田農業における高収益作物の推進を図る。

2. 収益性、付加価値の向上

- ・出荷用FGフィルムの有効利用を行い熊本県営業部長兼しあわせ部長“くまモン”のイラスト利用申請を行い有利販売によって収益力の向上を図る。

3. 新たな市場・需要の開拓

- ・JAの販売力を活用し市場開拓を進めて行くとともに、第三セクターを活用した販売用野菜の有利販売を進める。

4. 生産・流通コストの低減

- ・強化ハウスの導入を促進し、行政とタイアップして災害に強い農業施設導入を推進し生産コストの低減を行う。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

- ・施設園芸が行われている農地、今後も水稲作に活用される見込みがない水田について点検を行い、畑地化の取組の重点支援期間であることを周知し、点検結果も踏まえつつ、地域の実情に応じて水田の畑地化を推進していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

水田の栽培面積単位が小さく、兼業農家が主であり、需要に応じた生産を行なうため、今後も農業者に協力を求めていく。

高齢化による耕作放棄地の増加が懸念されるため、集落営農組織への取組を推進する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

家畜飼料として用いられているともろこしと同等の栄養価が有り、代用品として推進する。

イ 米粉用米

生産者・需要者との連携を図り、継続に向けた取組を推進する。

ウ WCS 用稲

畜産農家を中心に自給粗飼料の確保の観点から、専用品種の導入により、経営コストの低減を行い、作付面積の拡大を図る。

(3) 飼料作物

畜産農家との連携による需要に応じた生産を図り、自給粗飼料の確保に努める。また、産地交付金を活用し今後も資源循環の取組（耕畜連携）の支援を行いながら、作付面積の維持・拡大を図る。

(4) 高収益作物

ほうれん草、チンゲンサイ、トマト、アスパラガス、花き等の栽培に対し、産地交付金において支援を行いながら、今後作付面積の維持・拡大を図る。

また、担い手育成支援を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度 作付面積 (ha)	当年度の 作付予定面積 (ha)	令和4年度の 作付目標面積 (ha)	令和5年度の 作付目標面積 (ha)
主食用米	164ha、745 t	160ha、752 t	160ha、752 t	160ha、752 t
備蓄米	0.0	0.0	0.0	0.0
飼料用米	0.6	0.6	0.6	0.6
米粉用米	0.3	0.3	0.3	0.3
新市場開拓用米	0.0	0.0	0.0	0.0
WCS用稲	9.9	9.9	11.0	11.0
加工用米	0.0	0.0	0.0	0.0
麦	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	0.0	0.0	0.0	0.0
飼料作物	2.2	2.2	3.0	3.0
・子実用とうもろ こし	0.0	0.0	0.0	0.0
そば	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	0.0	0.0	0.0	0.0
高収益作物	13.1	13.1	13.8	13.8
・野菜	10.6	10.6	11.0	11.0
・花き・花木	2.2	2.2	2.5	2.5
・果樹	0.0	0.0	0.0	0.0
・その他の高収益 作物	0.3	0.3	0.3	0.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.0
畑地化	0.0	0.0	0.0	1.0

※ 主食用米の当年度、令和4年度、令和5年度の目標値において使用した単収は470kg/10a

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	野菜、花き・花木、その他作物	高収益作物への助成 （基幹作）	作付面積	13.13ha	13.8 ha
2	ほうれん草、 チンゲンサイ、 トマト、 ミニトマト、 アスパラガス	担い手加算 （基幹作）	作付面積	5.09 ha	7.0 ha
3	飼料作物、WCS 用稲	資源循環の取組 （耕畜連携・基幹 作）	取組面積	8.54 ha	9.0 ha
4	野菜、花き・花木、その他作物	高収益作物等拡大加 算（基幹作）	作付面積	13.13 ha	13.8 ha